

知ってナッ得

の
な心
みんな
安

火災
火災から命を守ろう
出火原因で多いのは

防災安全課 地域安全係 ☎・内線 1265
消防防災係 ☎・内線 1261

防 止
住宅火災の発生防止
気を付けるポイント

住宅火災の発生を防ぎ、火災から命を守るためには、どのような対策をすればよいのでしょうか。防火対策を出火原因別に紹介します。

① たばこが原因の火災

- ▼寝たばこをしない。
- ▼ふた付きの吸い殻入れにする。
- ▼吸い殻は水で消火してから捨てる。

② 放火火災の予防

- ▼家の周りに、ごみや燃える物を置かない。

- ▼地域の集会で防火座談会などを開き、地域ぐるみで予防に取り組む。

③ ストープが原因の火災

- ▼ストープの周囲に燃える物を置かない。
- ▼給油の時は消火する。

▼ カート

- ▼リジタンクのふたをしっかり閉める。



- ▼薪ストープは灰の処理や煙突の点検、清掃を定期的に行う。

④ 配線・電気が原因の火災

- ▼コードの上に家具を置かない。

- ▼折り畳んだり束ねたりしない。
- ▼たこ足配線をしらない。

- ▼定期的にし込みを抜いて、ほこりがたまっていないか点検する。



見 発
火災発生の早期発見
逃げ遅れを防ごう

■ 住宅用火災警報器の設置

住宅用火災警報器は、消防法で設置が義務付けられています。まだ取り付けていない住宅には設置が必要です。すでに設置していても、年数が経過して電池が消耗すると正しく作動しません。少なくとも年2回は定期的に点検しましょう。

警報器の中には、火災を感知した警報器が他の部屋に設置している警報器に信号を送り、全ての警報器が鳴る「連動型」もあります。早期消火や逃げ遅れ防止に有効です。

■ 高齢者などの就寝場所

高齢者や体の不自由な人が火災発生時に逃げやすいように、就寝場所を1階にしましょう。

また火災による死者は、逃げ遅れやすい高齢者の割合が高いのが特徴です。

火災が起こりやすい時季になりました。火災はちょっとした不注意からも発生し、一瞬のうちに大切な命や財産を奪います。盛岡地区広域消防組合管内で令和元年中に発生した火災は90件で、このうち建物火災は68件(75・6%)にもなります。

出火原因の割合を見ると**たばこ**放火(疑いを含む)が最も多くどちらも10%で、**ストーブ**が7・8%、**電灯・電話などの配線**が6・7%と続きます。

[広告] この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

耳鳴り、めまい、聴力低下、腰痛症、不眠症、不妊症、月経痛等 お困りの症状を御相談ください

漢方のあさひ薬局

御相談予約専用 携帯からもご利用できるようになりました!
☎0120-204077



本 店/八幡平市大更25-118-1(国道282号沿い) TEL.0195-75-2227
西根中学校前店/八幡平市大更24-1-118(西根病院そば) TEL.0195-70-2311

<http://www.facebook.com/asahi.kanpou> <http://www.asahi-kanpou.com/>

